



都立府中療育センター新聞 第441号 発行日 平成26年8月29日

第17回地域療育講習会

医療社会事業担当係 高柳 謙一

7月24日(木)17回目を迎えた地域療育講習会を開催しました。今回のテーマは「重症心身障害児者の皮膚トラブルと予防～褥瘡と皮膚感染症に焦点をあてて～」で、平成21年7月以来5年ぶりの皮膚トラブル関係のテーマでした。参加者と職員併せて82名が集まりました。

最初に「開会の挨拶」で、柴山副院長からユーモアを交えた導入がありました。

次に、富永内科医長から「重症心身障害児者の褥瘡と皮膚トラブル」の演題で講義がありました。初めに褥瘡の基礎知識として、分類や発生のメカニズムの説明があり、その後予防とセンターでの症例について、最後に皮膚感染症についても話がありました。2番目は栗原理学療法士から「体圧分散から考えた褥瘡予防」の講義です。ここでは、「応力」の説明から、体圧を分散させることや体位変換の必要を説き、予防の具体例を写真等も使って説明がありました。

この後の休憩時間には、展示されたウレタンフォームや特殊ゲルの製品を実際に手にとってみる参加者も多く見られました。

休憩後は、皮膚・排泄ケア認定看護師の北島看護師から「予防的スキンケアの実際」と題して講義がありました。褥瘡対策に関する診療計画書の紹介、重心児者の身体的特徴からの考察、皮膚の機能と維持することの重要性、保湿と保護、洗浄と清潔、被覆材等についてセンターの実践をもとに話がありました。その後、前もって配布した質問票を回収して質疑応答の開始です。毎回好評なこの時間ですが、今回も多く質問が集まりました。日常の支援の中で困っている点等が質問され、3名の講師から適切に回答が返されました。時間いっぱい質疑応答の後、事務長の「閉会の挨拶」がありましたが、閉会後も講師に熱心に質問を続ける参加者の姿がありました。



東京都食品衛生自主管理認証制度における認証を受けました！

栄養科 調理師 栗林 淳

東京都食品衛生自主管理認証制度とは、食品取扱施設の自主的な衛生管理を都の指定を受けた認証機関が確認し、優れた衛生管理を行っていることを認証する、東京都独自の制度です。

当センターにおいても、この制度における認証取得に取り組み、認証書を平成26年7月23日付けで受領しました。

この認証を受けるにあたって、準備を開始したのは、平成24年頃からでした。

平成25年に入ってから、認証取得に向けた、栄養科における具体的なスケジュールを決め、栄養科職員全員の協力体制のもと、従来からある衛生管理マニュアルの見直しや大幅な改訂、職員の意識改革にも取り組みました。その後、調理室内の掃除区分、清掃方法及び回数などの見直しも行って、衛生管理の強化を図りました。

最新の衛生管理マニュアルに沿った業務は、従来に比べて業務のチェックや記録が増えましたが、職員の協力を得て、スムーズに業務運営できています。

これからも、衛生管理の推進を図るとともに、おいしく安全で安心な食事提供に努めていきたいと思っています。



夏祭り特集パート2



1-A病棟 ～1-A病棟夏祭り～ 保育士 林 博之
7月23日(水)今年も1-A病棟の夏祭りを行いました。催しものは射的、ヨーヨーつり、シャボン玉、ドリンクコーナーです。

射的では、制作活動で作ったトレーを射的銃で撃ち、トレーについている点数で合計点を競いました。皆、狩人のように的を狙っていました。ヨーヨーつりでは一発でヨーヨーを釣り上げる方、何度も何度も挑戦してようやく釣り上げることができた方など、一喜一憂しながら楽しんでいました。ベランダではシャボン玉を作ったり、ドリンクコーナーで好きな飲物を注文し、のどを潤したりしました。最後には皆で盆踊りを踊りました。夏祭りの準備をしながら踊りの練習もしてきたので、振り付けも決まっています。和太鼓の音も響き渡り、祭りの雰囲気は最高潮。賑やかな夏祭りとなりました。



2-B病棟 ～2-B病棟夏祭り～ 保育士 木村 和子

8月20日(水)毎年恒例の夏祭りを行いました。今回は、津軽三味線演奏の章風会さんに来ていただくことになり、日本古来の三味線が聴けるとあり心待ちにしていました。ボランティアで来て頂く方々に何かプレゼントをと考え、手作りうちわを作ることに決めました。ストローや空きペットボトルなど利用してハンコのように押して模様作りです。ポスターカラーが指についたり、うまく色がつかなくなったりもしましたが、皆で協力していい感じのデザインに仕上がりました。待ち受ける準備が

整いました。事前に職員からお祭りがあることを聞かされていた、楽しい事が大好きなTさんは「うれしい」を連発され前日から大はしゃぎでした。

当日は、津軽三味線・尺八・太鼓を間近で聴き迫力ある演奏が身体に響いてくるようでした。利用者の方は笑顔を見せ、一緒に歌ったり、太鼓を叩いたり、声をあげる人、体をゆすったり手を叩いたりして楽しんでいました。最後に演奏を聴かせて下さった方々へお礼に利用者よりプレゼントを渡して終了しました。演奏を聴いた後は、うれしいおやつタイムです。アイスクリーム、ジュース、お菓子をいただき心もお腹も大満足。夏祭りを楽しむことができました。



3階病棟合同 ～3階合同夏祭り～ 保育士 柏木 奈穂美

7月23日(水)3階合同の夏祭りを行いました。

浴室ではミッキーマウスやミニマウスの大きな的目掛け、ピッチングマシンを使ってボール当てをしました。「やったー」「もう少し」の声が響く中、高得点を連続で打ち抜くつわものもいました。廊下ではヨーヨー釣りです。始めは皆遠慮して、1人1個釣り上げていましたが、後半になると一度に何個釣り上げられるか競い合い「やったー!2個釣れた!」など、楽しんでいました。最高で3個釣り上げた人もいました。

リネン庫は、ブラックライトを使って宇宙空間に変身です。ロケットのゲートをくぐると、星や星座の瞬く空間です。中にいる宇宙人の案内人に、水風船やスライムを使い「宇宙人の手だよ」「握手しよう」と言われ、ドキドキしながらも感触を楽しんでいました。



4階病棟合同 ～4階合同夏祭り～ 保育士 後藤 由美子
8月27日(水) 4-1病棟と4-2病棟による合同夏祭りを行いました。今年のテーマは「ブラジル」です。

各コーナーでは、ミニマラカスを作ってシャカシャカ、コーヒーやアイスクリームの香りにモグモグ、滝&川の水音にヒャ〜ッ!、暗闇ジャングルの光と声にドキドキ、そして、サッカーゲームでゴ〜〜ル!!と、途中三択クイズも解きながら、超ミニブラジルを体験しました。

そして後半、浅草サンバカーニバルなどにも出演されている、正真正銘のサンバダンサーが登場。3人の豪華な衣装と華麗なステップ、リズミカルな動きに皆ビックリ!!でも次第にキラキラした表情に変わり、とっっても嬉しそうな、弾けた笑顔をたくさん見せてくれました。

ご家族や他病棟の利用者様にも参加していただき大盛況。飛び切りの賑やかさで、楽しい一時となりました。



5-B病棟 ～5-B病棟夏祭り～ 保育士 豊嶋 保江
8月20日(水)に夏祭りを行いました。

今年は、病棟デイルームとお風呂場を使用して縁日をしました。ボランティアの方も4名お手伝いで参加して下さい、会場を盛り上げてくれました。利用者は思い思いの浴衣を着て、ヨーヨーつり、的当て、当てくじの3つのコーナーを回り、それぞれ景品を手に入れて帰ってきました。

ヨーヨーつりでは、好きなものを選んで釣り上げていました。的当ては思い通りにボールが飛ばない人もいましたが、好きな景品が選べた為、楽しそうに景品を選んでいました。当てくじでは、おみくじの様に引き当てた番号の景品を手に入れ、一喜一憂していました。他病棟の利用者もたくさん遊びに来てくれ、とても盛り上がり、楽しいひと時を過ごす事ができました。



通所 ～夕涼み会～

保育士 癸生川 傳恵



7月17日(木)、通所にて、毎年恒例の夕涼み会を開催しました。

今年のテーマは「fine power ～心に感じて元気をもらおう～」。今回はプロで活躍されているミュージックボックスさんをお招きしました。

迫力溢れる歌、それぞれの楽器から奏でる音に魅了され、利用者の皆さんはじめ、保護者の方々、職員一同、心に残る素敵なひと時を共有することができ、元気をもらいました。また、今年も職員出し物を頑張りました!まずはダンス。人気グループ嵐が元気をテーマに踊っている「GUTS!」と、通所劇場「どろぼうがっこう ぜんいんだつごく」で、元気とお笑い?をお届けしました。

夜は吹上げ花火を見ながら、いつもの通所とは違う夏の一夜を終えました。

後日、残念ながら参加出来なかった利用者の皆さんとも、当日撮影したDVDを鑑賞し、楽しかった思い出話をしています。それぞれが感じ、受取った元気を胸に、暑い夏を乗り切れそうです。



夏の企画～オバケと涼む会～

指導科 亀岡 淳一



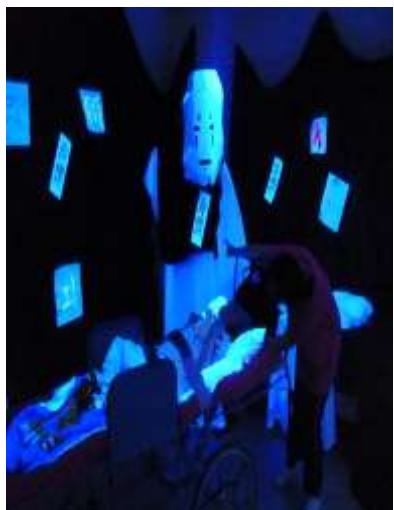
記録的な猛暑の中、7月30日・31日に指導科行事「夏の企画」を実施しました。今年のテーマは「妖怪（オバケ）の世界」です。6月3日に行った「春の企画」のテーマ「桃太郎の鬼退治」のイメージを広げて、夏らしい風物詩の一つを味わってもらいたいと企画準備しました。

会場のあじさい館に入ると、鬼太郎一族がお出迎え。天井の一反もめんや目玉おやじ、鬼太郎風の案内人に歓声があがっていましたが、塗るかべの入口をくぐると一転して暗闇の世界に。妖しげなお祓いで雰囲気が変わり、「和の妖怪世界」です。暗闇の中で妖しげな光と音、顔ナシや古井戸の亡霊姿に驚く声が上がっていました。

不気味な墓場や古井戸を抜けると、ようやく明るい光が見えホッとしたと思った途端、「洋の妖怪世界」の怪しげなお面の人影に囲まれ、ミイラ男や棺桶の中で光る目、目玉に囲まれたドクロが恐ろしげな雰囲気をかもし出していました。

そんな恐ろしげな雰囲気の中で、「?ボックス」に手を入れるのはドキドキしたことと思います。グニャグニャの感触に驚くのは序の口。手を握られて悲鳴を上げていたのは誰でしょう。

最後はグランドのバーバパパ喫茶の甘～い飲み物で一息。ドキドキ、ヒェ（冷え）～とした気分も一転し、あじさい館での出来事が笑い話になって笑い声が絶えない2日間でした。



第29回東京都障害者総合美術展に入選

1-A病棟利用者の糟谷幸輝さんがパソコンで作成された作品「おさんぼ」が第29回東京都障害者総合美術展で、見事入選されました！

作品は7月30日（水）から8月3日（日）までの間、西武池袋本店7階催事場特設会場にて展示されました。

今後は府中療育センター管理棟2階の廊下（院長室等の前）や、センター祭にも展示を行う予定です。

ぜひ、御覧ください。



作品名「おさんぼ」

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>